

令和3年度 地域運動部活動推進事業
(休日の部活動の段階的な地域移行に関する実践研究)
成果報告書

令和4年2月
兵庫県教育委員会

I 事業の概要

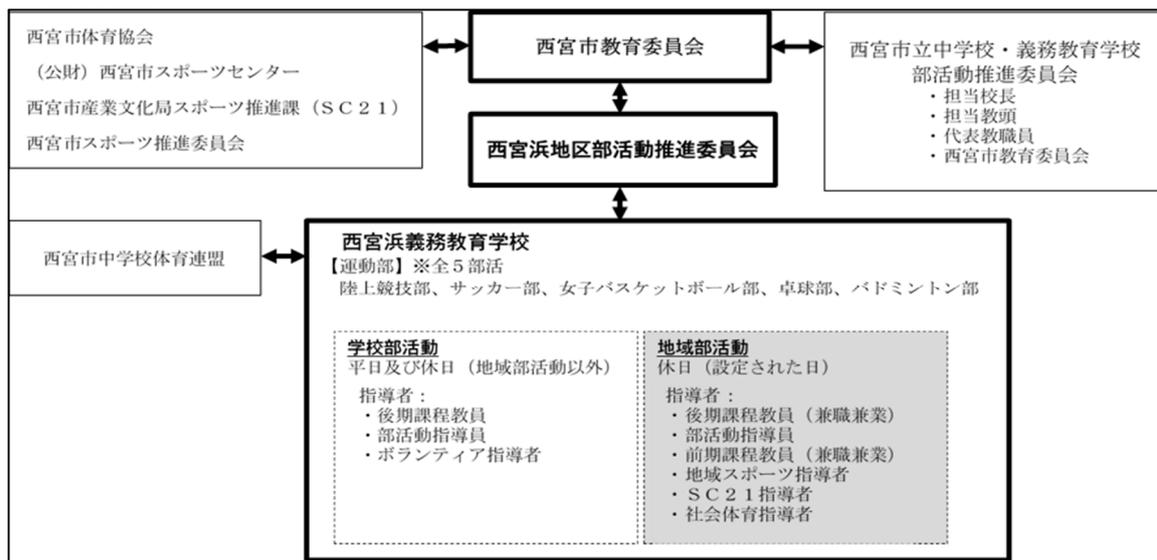
1 拠点校

拠点地域	拠 点 校	実施運動部	指 導 者
西宮市	西宮市立総合教育センター附属 西宮浜義務教育学校	陸上競技部	地域指導者、部活動指導員、前期課程教職員
		サッカー部	前期課程教職員
		卓球部	社会体育指導者
		バドミントン部	地域指導者、他校教職員
		女子バスケットボール部	地域指導者
播磨町	播磨町立播磨中学校	剣道部	少年剣道クラブの指導者（有段指導者）
		卓球部	総合型地域スポーツクラブの会員
	播磨町立播磨南中学校	サッカー部	総合型地域スポーツクラブの職員（指導員）

2 拠点校(地域)における実施体制と当初の課題

(1) 西宮市

ア 実施体制



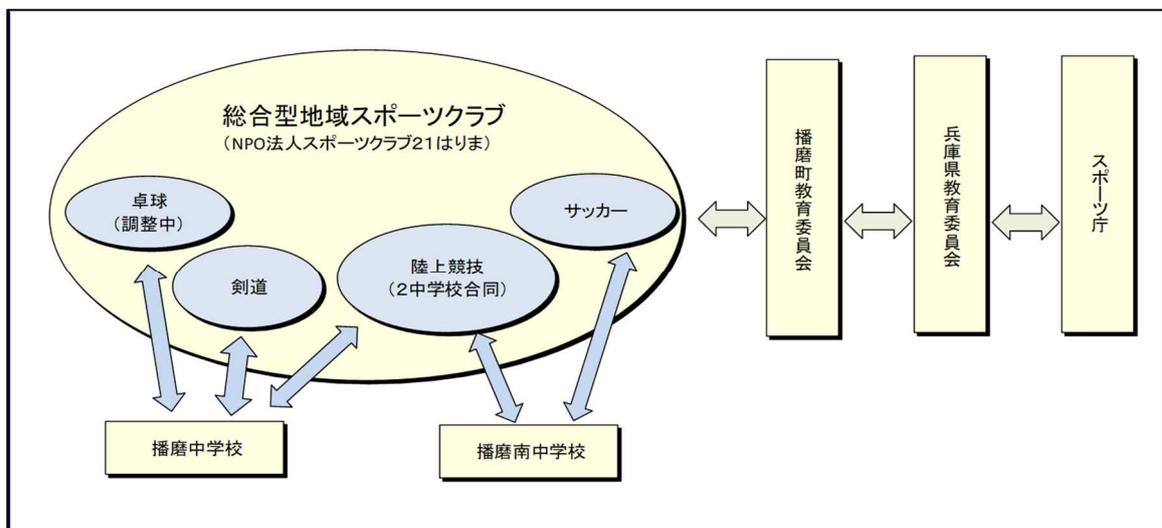
イ 当初の課題

小学生を対象とした地域スポーツクラブで取り組んでいた種目が進級先の後期課程の部活動になかったり、同種目の部活動があるにも関わらず、連携のとれた継続的な指導が行われていなかったりする。

また、生徒数の減少により、生徒の希望に応える部活動の種類が設定できていない。

教職員数も少なく、休日における顧問教員の負担が大きく、限られた職員の中で担当種目の経験の有無に関わらず顧問として従事せざるを得ない実態がある。

(2) 播磨町
ア 実施体制



イ 当初の課題

団塊の世代に支えられていた運動部活動における指導者不足により、部活動の存続が厳しい状況となっている。また、部活動の種目数も減少し、生徒は限られた種目での活動を選択している。

地域では総合型地域スポーツクラブが NPO 法人を取得しており、地域の体育協会や活動団体とともにスポーツ活動の一元化を目指す。

II 調査

1 拠点校に対するアンケート調査要領

(1) 目的

中学校における休日の部活動の段階的な地域移行を進めていくために、令和3年度の地域移行の拠点校を対象にアンケート調査を実施し検証する資料とする。

(2) 検討事項

- ア 休日の部活動の段階的な地域移行に関する取組や期待・課題となっている内容について
- イ 学校・地域の現状等について

(3) 調査対象と質問内容

ア 地域移行の拠点校(西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校、播磨町立播磨中学校、播磨町立播磨南中学校)

① 校長 ② 顧問 ③ 指導者

No.	質問内容	校長	顧問	指導者
1	地域移行の期待する内容	Q 1	Q 1	Q 1
2	事業実施が困難と感じる項目	Q 2	Q 2	Q 2
3	事業の課題解決への工夫	Q 3	Q 3	Q 3
4	今後、課題解決が困難だと感じる項目	Q 4	Q 4	Q 4
5	連携ができそうな外部団体	Q 5	Q 5	
6	事業の利用施設の状況	Q 6		
7	事業における用具の取扱い	Q 7		
8	指導者資格状況		Q 6	Q 5
9	兼職兼業のスポーツ活動の状況		Q 7	
10	地域スポーツ活動への参加意識		Q 8	
11	休日と平日の指導連携体制		Q 9	Q 6
12	兼職兼業の課題	Q 8		
13	緊急時の対応の状況	Q 9		
14	保険の加入状況	Q10		
15	現時点での要望	Q11	Q10	Q 7

イ 地域移行の拠点校(西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校、播磨町立播磨中学校、播磨町立播磨南中学校)

① 生徒 ② 保護者

No.	質問内容	生徒	保護者
1	休日の地域スポーツ活動の満足度	Q 1	Q 1
2	休日のスポーツ活動の指導状況	Q 2	
3	複数の指導者への生徒の状況	Q 3	
4	休日スポーツ活動への不安	Q 4	Q 2
5	休日スポーツ活動の費用負担		Q 3
6	現時点での要望	Q 5	Q 4

(4) 調査時期

令和4年1月

2 アンケート調査結果

○ 調査数

拠点校3校（西宮浜義務教育学校・播磨中学校・播磨南中学校）

調査対象	校長	顧問	指導者	生徒	保護者	合計
西宮浜義務教育学校	1名	7名	6名	54名	54名	122名
播磨中学校	1名	2名	2名	39名	37名	81名
播磨南中学校	1名	1名	1名	12名	12名	27名
合計	3名	10名	9名	105名	103名	230名

1 地域移行に期待する内容（校長・顧問・指導者）

・中学校運動部活動の地域移行で、最も期待している内容

選択項目	校長	顧問	指導者
① 教員の働き方改革推進への期待	3	5	5
② 生徒が専門的指導を受けられることへの期待	1	6	4
③ 学校と地域との連携に期待（開かれた学校づくり）	1		4
④ 保護者のニーズに応えられることへの期待		1	3
⑤ 期待していることはない			
⑥ その他	1		
回答数	6	12	16

■ 校長 ■ 顧問 ■ 指導者

【その他の意見】

・地域に移行することで、現在ない部活も活動でき多様な子どもたちのニーズに応えられる。（校長）

○ 拠点校では、教員の働き方改革推進への期待感を持って事業に取り組んでいる。

2 事業実施が困難と感じる項目（校長・顧問・指導者）

・本事業実施前に困難だと感じていた項目（複数回答可）

選択項目	校長	顧問	指導者
① 教師に代わって専門的な指導を担う地域人材の確保	3	7	2
② 休日の部活動を実施する地域スポーツ活動等の外部運営団体の確保	1	3	3
③ 平日と休日の指導の連携・協力体制の構築	2	9	2
④ 費用負担の在り方の整理	1	4	3
⑤ 学校部活動と地域スポーツ活動の役割分担の整理		6	5
⑥ 緊急時の対応に関する整理	1	1	4
⑦ その他			
回答数	8	30	19

■ 校長 ■ 顧問 ■ 指導者

○ 事業実施前には、「地域人材の確保」「連携・協力体制の構築」が困難だと感じていた。

3 事業の課題解決への工夫（校長・顧問・指導者）

- ・本事業を実施するうえで、課題解決のために工夫した内容

【校長】

- ・小学校教員が部活動指導に関わることは本校の目指す所であったのでいきっかけになった。
- ・学校と SC21 はりまとの協議、意見交換など

【顧問】

- ・生徒と指導者の両方に話を聞いて、連携・協力できるように努めました。
- ・メッセージ、電話での連絡を細かくする。
- ・試合・練習の日程、試合内容など、密に連絡をとること。

【指導者】

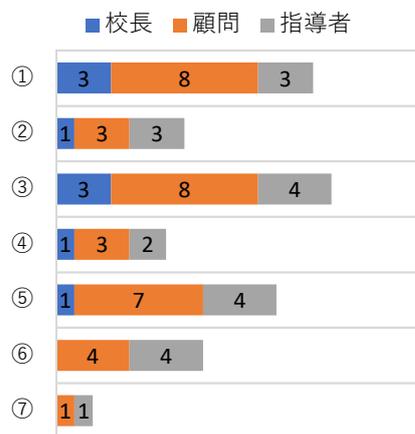
- ・まずは顧問としっかり話すこと。学校の意向にそって指導にかかわるように努力した。
- ・本年度は顧問が全日程参加し、練習内容も顧問の指示によるものだった。もう少し、事前に計画し、地域指導者にまかせて行う形でも良かったのではと感じた。例えば、ある種目については、トレーニングメニューからまかせてみる等。
- ・地域と学校との役割分担が難しいと思う。地域に全て委ねるのではなく、できる範囲の協力をお願いするのがいいと思います。
- ・新しい技術の習得（陸上競技の研修会への参加など）
- ・校外（砂浜での練習における練習メニュー作成及び指導（2回実施）
- ・練習内容や活動のあり方や故障者への対応について顧問と意見交換

- 校長・顧問・指導者ともに、しっかりとした話し合いを行うことの重要性をあげている。

4 今後、課題解決が困難だと感じる項目（校長・顧問・指導者）

- ・今後、本事業の実施を進めるうえで、課題解決が困難だと感じている項目（複数回答可）

選択項目	校長	顧問	指導者
① 教師に代わって専門的な指導を担う地域人材の確保	3	8	3
② 休日の部活動を実施する地域スポーツ活動等の外部運営団体の確保	1	3	3
③ 平日と休日の指導の連携・協力体制の構築	3	8	4
④ 費用負担の在り方の整理	1	3	2
⑤ 学校部活動と地域スポーツ活動の役割分担の整理	1	7	4
⑥ 緊急時の対応に関する整理		4	4
⑦ その他		1	1
回答数	9	34	21



【その他の意見】

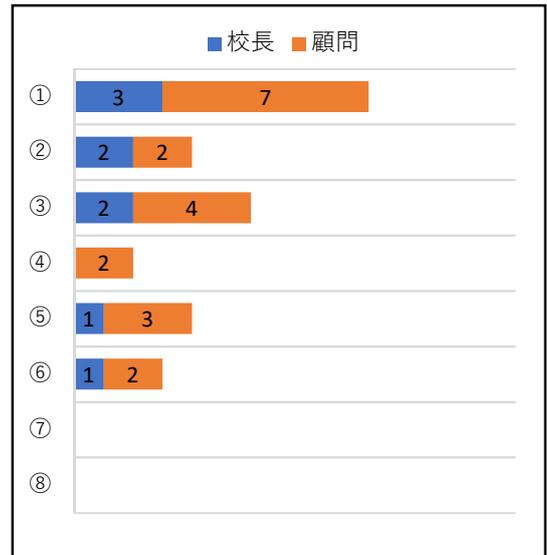
- ・各競技の協会と委員会の連携（顧問）
- ・強い熱意を持っている顧問は、休日こそじっくり指導したいと考え、時に外部の指導を受け入れることに疑問を持つように思う。部活動は技術指導だけではなく、日頃から顧問がどういう選手に育てたいかという面（人格や自立心）での連携をしっかりと行わないといけないように感じる。顧問の部に対するビジョンが見えてこないとやりにくい。（指導者）

- 事業実施後も「地域人材の確保」「連携・協力体制の構築」が大きな課題であると感じている。

5 連携ができそうな団体等（校長・顧問）

・今後、連携が可能だと考えられる団体等（複数回答可）

選択項目	校長	顧問
① スポーツクラブ 21	3	7
② 市町体育協会	2	2
③ 各種競技団体	2	4
④ 民間のスポーツクラブ		2
⑤ PTAや同窓会	1	3
⑥ 県中体連・県高体連	1	2
⑦ 全く必要だと思わない		
⑧ その他		
回答数	9	20



○ 拠点校では、総合型地域スポーツクラブとの連携が可能だと考えている。

6 事業の利用施設の状況（校長）

・本事業での利用施設及び実施部活動

選択項目	校長	実施部活動
① 自校の体育施設	3	【西宮浜】陸上競技、サッカー、卓球、バスケットボール、バドミントン 【播磨】卓球、剣道 【播磨南】サッカー
② 他校の体育施設		
③ 市町の体育施設		
④ 民間の体育施設		
⑤ その他		
回答数	3	

7 事業における用具の取扱い（校長）

・本事業の実施にあたり、学校の用具の貸出について該当する項目

選択項目	校長
① 自校の用具の使用を許可している。	2
② 自校の用具の使用を一部許可している。	1
③ 自校の用具の使用は許可していない。	
④ 運営団体の用具を保管している	
⑤ その他	
回答数	3

○ 拠点校では、自校の体育施設で自校の用具を使用して地域スポーツ活動を実施している。

8 指導者資格状況（顧問・指導者）

・教員免許以外の指導に関する資格の有無（複数回答可）

選択項目	顧問	指導者
① 各競技団体の認定指導者資格	2	3
② 各種団体の段位・称号（免許状）	1	5
③ 特になし	7	3
④ その他		
回答数	10	11

○ 基本的に指導者は、指導者資格を有する者が指導にあっている。

9 兼職兼業のスポーツ活動の状況（顧問）

・本事業において、兼職兼業の許可を得て地域スポーツ活動への参加の有無

選択項目	顧問
① 許可を得ている（地域スポーツ活動の指導者として指導している）	8
② 許可を得ず、地域スポーツ活動にボランティアで参加している	
③ 参加していない	2
回答数	10

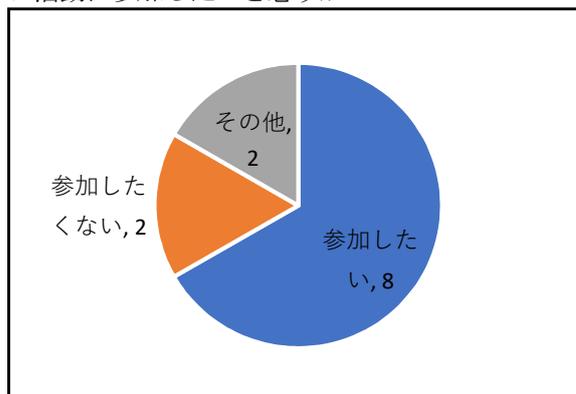
○ 顧問は兼職兼業の許可を得て、地域スポーツ活動の指導者として指導に携わっている。

○ 休日の指導に携わっていない顧問は、9部活動中2名

10 地域スポーツ活動への参加意識（顧問）

・兼職兼業の許可を得ることができれば、地域スポーツ活動に参加したいと思うか

選択項目	顧問
① 自校を含む校区内の地域スポーツ活動に参加したい	3
② 居住地の地域スポーツ活動に参加したい	4
③ 上記以外の地域スポーツ活動に参加したい	1
④ 参加したいと思わない	2
⑤ その他	2
回答数	12



【その他の意見】

- ・自分の部活動以外は参加することは厳しい。
- ・現時点では分からない。

○ 兼職兼業の許可を得て、今後も地域スポーツ活動の指導に携わりたい顧問は多い。

11 休日と平日の指導連携体制（顧問・指導者）

・休日と平日の指導の連携・協力体制の内容

選択項目	顧問	指導者
① 兼職兼業の許可を得ているので問題ない	3	2
② 練習日誌等を利用して情報共有している	2	1
③ アプリ等を利用して情報共有している	2	2
④ 指導前後に打ち合わせを行っている	7	7
⑤ 特に行っていない		2
⑥ その他		1
回答数	14	15

【その他の意見】

・指導前後に出来るだけ平日の練習内容や生徒の状況を確認するようにした。

○ 打ち合わせを行い、日誌やアプリを用いて情報共有を行っている。

12 兼職兼業の課題（校長）

・教員の兼職兼業において課題となっている項目（複数回答可）

選択項目	校長
① 兼職兼業の許可を得た教員の实態（勤務日数及び勤務時間等）の把握	3
② 兼職兼業の申請に関すること	
③ 兼職兼業職員の確定申告に関すること	1
④ 運営団体との連携	
⑤ その他	
回答数	4

○ 校長は、兼職兼業の許可を得た教員の实態の把握が課題だと考えている。

13 緊急時の対応の状況（校長）

・本事業の実施にあたり、緊急時の対応について該当する項目

選択項目	校長
① 地域スポーツ活動での「危機管理マニュアル」を作成している	
② 自校の「危機管理マニュアル」を準用している	3
③ 運営団体の「危機管理マニュアル」を準用している	
④ その他	
回答数	3

○ 拠点校では、各校の「危機管理マニュアル」を準用し、緊急時の対応にあたっている。

14 保険の加入状況（校長）

・本事業実施にあたり、保険について該当する項目

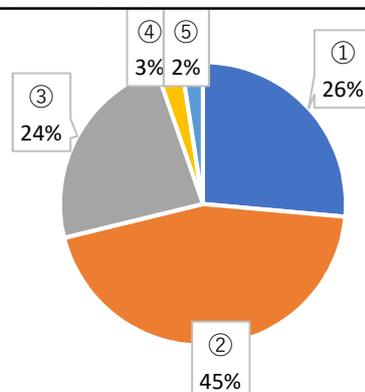
選択項目	校長
① 学校負担（生徒会費等）で保険に別途加入している	
② 市町教育委員会負担で保険に別途加入している	2
③ 保護者負担で保険に別途加入している	1
④ その他	
回答数	3

○ 費用負担は上記のとおり保険に加入している。

15 休日の地域スポーツ活動の満足度（生徒・保護者）

・休日の地域スポーツ活動は楽しいか（生徒）、楽しいと話しているか（保護者）

選択項目	生徒	保護者
① 非常に楽しい（と話している）	31	24
② 楽しい（と話している）	47	46
③ どちらともいえない（と話している）	22	27
④ あまり楽しくない（と話している）	1	5
⑤ 全く楽しくない（と話している）	4	1
回答数	105	103



○ 約7割の生徒及び保護者は、休日の地域スポーツ活動が楽しいと感じている。

16 休日の地域スポーツ活動の指導状況（生徒）

・休日の部活動は誰に指導してもらっているか

選択項目	部数
① 平日に指導してもらっている顧問の先生	2
② 顧問の先生と外部指導者	6
③ 外部の指導者のみ	
④ その他	
回答数	8



【内訳】

- ① 西宮浜：サッカー部、女子バスケットボール部
- ② 西宮浜：陸上競技部、バドミントン部、卓球部
播磨：剣道部、卓球部
播磨南：サッカー部

○ 今年度は、外部指導者のみでの活動はない。

17 複数の指導者への生徒の状況（生徒）

- ・顧問の先生（平日）と外部指導者（休日）との指導の違いに戸惑うことがあるか

選択項目	生徒
① ない	89
② ある	16
回答数	105

【「ある」と答えた内容】

- ・指導の仕方が違うと、どちらを優先的に練習すればいいかわからなくなる。
- ・（顧問と指導者で）言っていることが違うので、どちらに従えばいいかわからなかった。

○ 生徒によっては、顧問と指導者の指導の違いに戸惑うことがあり、今後の課題である。

18 休日スポーツ活動への不安（生徒・保護者）

- ・休日の地域スポーツ活動について不安に思っていること

【生徒】

- ・指導者がいない日ができてしまうのではないだろうか。
- ・教え方の違いなどがあること。
- ・自分のやり方とは違う指導方法で戸惑うことがある。
- ・（指導者の）話が長くなって通院時間に遅れる。
- ・部活の細かい指導があまりないこと。
- ・時間が長い。

【保護者】

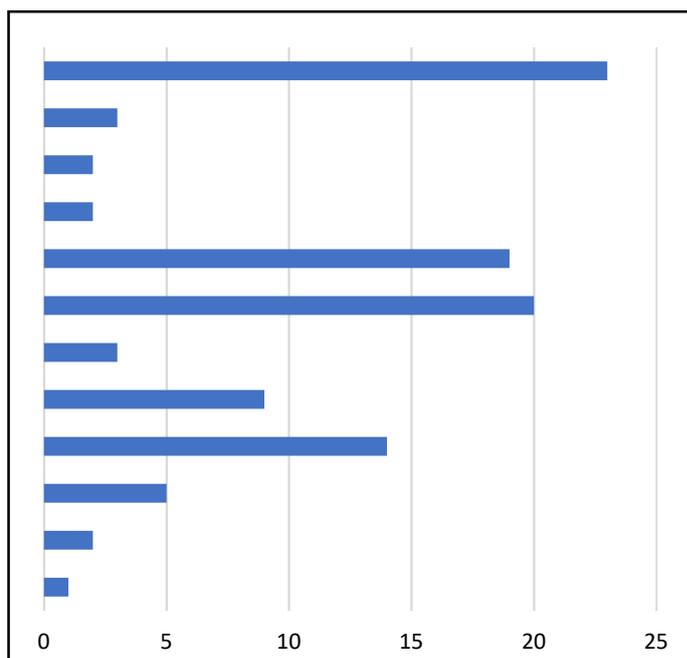
- ・先生と指導者の考えの違い等で子供たちが混乱しないか少し不安がある。（4）
- ・親善大会や大会において、移動手段について（遠方になる場合がある時）（3）
- ・責任の所在が不明に感じます。（2）
- ・平日の部活動とのギャップがどれ程あるのか（温度差）。生活面、学習面での態度を含めて指導してもらえるか。（2）
- ・部活内での人間関係で問題があれば、どのように対応して頂けますか？（2）
- ・学業に影響が出ないのか。平日と休日で指導方針や運営内容が変わらないのか。（2）
- ・少子化や選択肢が広がったせい、試合するのに必要な人数が集まらないなど、存続できるか心配。
- ・保護者が何らかのお手伝いをする事になれば、休日出勤をしているので、少し負担になります。
- ・顧問の先生が地域指導者になることはできるのか。
- ・休日に起こった出来事（指導内容ではなく、生徒の様子等）を教員と共有できるかどうか。部活動が学校生活に密に関係してくると思うので。
- ・普段、生徒と接していないため、生徒とのコミュニケーションが図られるか心配。
- ・顧問不在時のケガや事故の際の連絡体制をオープンにして頂きたい。

○ 顧問と指導者の指導の違いによる混乱やトラブルへの対応等の不安が多い。

20 休日スポーツ活動の費用負担（保護者）

・費用負担が増える可能性があることへのご意見と負担可能な金額（月あたり）

負担可能金額	
回答なし・わからない	23
0円	3
～200円	2
～300円	2
～500円	19
～1,000円	20
～1,500円	3
～2,000円	9
～3,000円	14
～5,000円	5
～10,000円	2
～20,000円	1
	103



【主なご意見】

- ・指導者への謝金や保険料は必要だと思うので、費用負担が増えるのは仕方がないと思う。(42)
- ・費用をかけてまで休日にさせたくない。(7)
- ・市が負担するのが好ましいと考えます。(3)
- ・具体的にあまり見えてこないだけに答えづらいです。(3)
- ・基本的にはボランティアで良いと思います。謝礼が発生すれば責任も重くなる。
- ・地域の指導者に謝礼をするのは良いと思うが、休日はクラブを休みにしても良いと思っています。
- ・負担はある程度仕方ないと思うが、みんなが平等に学べる学校という場でやる事なので、高くて参加を控えるようなら学校としての部活は廃止した方が良いのかと思う。やりたい人はクラブチームに入ったり、中学内で子どもたちがサークルのように自主的に活動したり、もっと自由で良いのではと思います。
- ・部活は、習い事とは違うので部費（道具代）は仕方ないですが、指導料金を支払うのは違うと思います。しかも、指導者を選べないので、子供たちに合う合わないはわからないので。

○ 大半は費用負担も仕方がないと考えているが、一部、費用負担をして休日に部活動を実施する必要性について、疑問の声がある。今後、丁寧な説明が必要であると考えます。

22 現時点での要望

【指導者】

- ・ぜひやりきってほしい。そのためには、土・日のお金をだし指導員を派遣する会社がいるのでは。
- ・教師の働き方改革を進めることは大切でだが、生徒の成長にとって何が大切なのかを抜きには考えられない。単に競技力向上のみの指導であってはならないし、活動の時間を見守っているだけでも困る。生徒のニーズに沿って、成長の助力となるようにしっかりとした打ち合わせや連携が必要となるが、はたしてその時間が作れるか、その時間が顧問の負担にならないとも限らない。
- ・いい取組だとは思いますが、その前に給与のことなどを見直した方がいいのではないのでしょうか。やりがいは人それぞれだとは思いますが、それはある程度の給与が前提として成り立っている。その前提をまずは見直す必要があると思います。
- ・①部活動が「学校教育の一環」として持続可能性を求める以上、生徒や家庭にとって、金銭面も含めた「参加機会の平等性」を担保することが最大のポイントと考える。

②「学校部活動」と「地域スポーツ活動」の役割分担を整理する前提として、「学校部活動」に係る業務のうち「学校・教師でなければ実施できないこと」「外部でも実施できること」「制度等の見直しにより外部でも実施可能なこと」等の仕分けを行うことが重要と考える。

【生徒】

- ・休日の練習をパターン化してほしい。(毎回、ちがうメニューだと分かりにくい。)
- ・外部指導者の教え方が悪い。外部指導者が自己中。
- ・外部指導者の話は有意義な物だとは思いますが、それで活動の時間が減るのは少し嫌である。
- ・毎年、外部指導者を替える。(できれば)
- ・部活時間が少ないので時間を増やしてほしい。

【保護者】

- ・先生方の休日確保は時代の流れで重要だと思います。クラブ活動が教育の一環という事であれば、土、日、祝については、「休む」事も選択肢のひとつとして考慮しても良いのでは?と思います。(3)
- ・できれば平日の先生と外部コーチと一緒に指導してもらえるとありがたいと思います。
- ・部活動の指導者は、部活のみならず生徒の日々の学び、成長に関わる大切な存在です。どんな方にやって頂くかは、多角的な視点で選んでほしいと思います。又、先生との連携もしっかりやっていただきたいです。地域によって、関われる大人の差がない様をお願いしたいです。
- ・いつも SC のコーチにお世話になっており、感謝しております。また、地域の方とのコミュニケーションも取れて、子供にとっても良い事だと思います。
- ・指導者が平日、休日でかわることは、新たな刺激にはなりますが、一方で方向性が違ったりすると子供達は戸惑わないのかな?と不安もあります。
- ・指導者の子どもがいる学校には、その指導者を担当させないようにした方がよいのでは。SC21 等のように親が参加すると、レギュラー、選手を選ぶ際に私情が入ったり、他生徒に不安、その他よくない影響が考えられる為。
- ・教職経験のない方の指導は難しいのかなと思っています。クラブチームのようにやる気のある子ばかりではないし、色々な子がいて、中学という心も身体も成長過程の中で、1人1人の心を見て、その子なりのがんばりで良いのではと思います。勉強や他にやりたい事も沢山ある時期なので、忙しい中、毎日指導に来て下さるのはありがたく、熱心にして下さっているとは思っています。
- ・学校の先生の負担が減ることは好ましい。地域の指導者が学校との連携をきっちりとして、子ども達と良好な関係を築けるようにしてほしい。
- ・楽しい雰囲気でも部活ができればいいと思います。
- ・難しいとは思いますが、中途半端な移行は生徒の混乱を招く恐れがあると考えます。行うなら徹底的に移行いただきたいです。
- ・地域スポーツ活動に移行したら、日曜日も活動してほしい。
- ・部外の指導者に指導して頂く事によって、大きくレベルアップにつながっていると感じます。更により良い指導者へつながっていく事を期待しています。
- ・地域移行にすることによって、今後、部活動の種類がもっと増えたらいいなと思います。
- ・部活動が先生方の負担になっている事は、重々承知しております。生徒数も減り、色々なスポーツクラブがある昨今の状況を鑑みた部活運営を考え直されてはいかがでしょうか。
- ・思っていた程、指導してもらっていないように感じます。
- ・部活動の休みが多くてもっとスポーツに取り組めるといいと思う。自分たちの時代は、休みがなく有意義だった。休みがあると遊びに行ったら出費する。昔の子どもとあそび方も異なるので、忙しく打ち込んで欲しいです。

○ それぞれの立場から貴重な意見をいただいた。これらの意見を参考に、行政として説明責任を果たしていくことが課題である。

3 成果

(1) どうすれば関係団体と円滑に地域移行を推進できる体制を構築できるか

- 地域によってさまざまなスポーツ団体が存在するが、各市町教育委員会において所管の各学校の実情を踏まえて、教育委員会及びスポーツ所管課と関係性の深い団体から調整していくことが必要である。

【西宮市】

これまでも実施校では SC21、競技団体の関係者が関わっていただいていたこともあり、今回の実践研究の実施にあたり、趣旨や目的に理解を得て、取組みを行うことができた。

【播磨町】

NPO 法人スポーツクラブ 21 はりまにおいては、クラブ設立当初から学校の部活動における連携協力について目標としてきた。

令和2年度より町内2中学校の部活動において、専門性の無い顧問や部活指導を望まない顧問の部活動に部活動指導員配置事業を活用して指導者を配置してきた。

部活動指導員については、総合型地域スポーツクラブ「NPO 法人スポーツクラブ 21 はりま」の推薦する職員や会員を任用している。令和3年6月より、土日における部活動を中学校運動部活動の地域移行検討事業の指導者として活用している。

(2) どのような支援が拠点校の取組や関係団体の協働を効果的に促進することができるか

- 拠点地域の教育委員会においては、拠点校における課題を丁寧にヒアリングし、関係団体と調整を図ることが重要であり、指導者の確保ができる部活動から、教職員・生徒・保護者に対して十分な説明を行ったうえで、段階的に進めていくことになる。

そのために、県教育委員会においては、制度設計のモデルやFAQの作成など必要な情報提供を積極的に行うことで効果的な促進を図る。

【西宮市】

実施にあたり、職員をはじめ、関係者への説明や制度の設計等についてはある程度、教育委員会が主導的立場となって進めていく必要がある。また、実際の活動に関わることについては、学校と共に協議を重ねていくことが求められる。

【播磨町】

指導者不足により存続が困難になってきた部活動など、中学校の困り感を支援するように地域の指導者を配置した。中学校が必要としている種目とNPO 法人スポーツクラブ 21 はりまが確保している人材（種目）の調整を教育委員会事務局が行った。

顧問である教師が休日を兼業兼職することで地域指導者としてかかわるなど、地域の人材を柔軟に活用できる体制が必要である。

(3) どのようにして、それぞれの課題を克服していくか

特に地域スポーツ活動の費用負担について保護者の理解を得るために必要なこと等をご記入下さい。

- 費用負担に関しては、アンケート調査により拠点校の保護者からさまざまなご意見をいただいた。

平日の「学校部活動」と休日の「地域スポーツ活動」について、丁寧な説明を行い、ご理解いただくしか方法はないと考える。特に、教員が兼職兼業の許可を得たうえで休日の指導を行う場合は、より丁寧な説明が必要になってくる。

【西宮市】

アンケート等により、生徒や保護者、指導者の意向を聞き取りながら丁寧に説明を重ねて理解を得ていくことが必要である。それぞれの部活や地域によって活動の実情が異なるため、時間をかけて調整を図る必要がある。

【播磨町】

令和3年度においては、生徒や保護者は指導者謝金やスポーツ保険等の費用に関する負担がなかった。今後は、生徒及び保護者に対して、スポーツクラブへの会員登録やスポーツ保険など、一定の受益者負担について理解と協力を得るための説明が必要である。

(4) どのようにすれば改革の取組を円滑に他地域に普及していけるか

- それぞれの地域や各学校において実情は異なるため、運営主体となり得る団体がある地域や学校では、指導者の確保が可能な運動部から休日の地域移行を進めていきながら、その他の運動部については、継続して団体と協議していくことが考えられる。運営主体となり得る団体がない地域や学校では、PTAや各部活動の保護者会、OB会等と協議するなどが考えられる。

【西宮市】

それぞれの地域や学校の実情に応じた地域移行を段階的に進める必要がある。また教員をはじめ、関係者に対して今後の部活動のあり方について協議を進めていく。

【播磨町】

学校の部活動に地域の指導者を導入していくことで、学校と地域との連携協力体制が構築できると考えられる。特に、部活指導員配置事業を活用するなど、地域人材の活用を充実させるとともに、総合型地域スポーツクラブと連携協力体制を構築することが望まれる。それぞれの地域における活動団体や人材について担当部署を中心に整理し、根気強く協議していくことが大切ではないかと考えられる。

(5) 実践研究における活動実績や得られたデータ

- 両市町の拠点校では、部活動に熱心に取り組む教員が兼職兼業の許可を得て指導に携わりながら、地域スポーツ指導者と連携を図り、休日に指導を行わない日を設定している。休日の指導を完全に地域スポーツ指導者が行っている運動部活動は、1部活動のみ。

【西宮市】別紙参照

【播磨町】

- 休日の活動日数
 - ・剣道部 地域指導者 21日 顧問(教師) 0日
 - ・卓球部 地域指導者 24日 顧問(教師) 13日
 - ・サッカー部 地域指導者 25日 顧問(教師) 34日
- 教員の負担軽減
 - ・顧問の剣道部は、休日の部活動に顧問(教諭)は基本的には参加していない。
 - ・卓球部顧問(教諭)は、地域指導者に休日の部活動を任せるなど、適度に休むことができ、教職員の負担軽減につながっている。
 - ・サッカー部顧問は専門性がないため、地域指導者の専門的な指導に生徒は満足している。

指導者

担当	所属	8月28日	9月4日	9月20日	9月23日	11月23日	11月27日	12月11日	1月8日	1月10日	1月22日	合計
1	後期課程教員	3	4		4		4		5		5	25
	後期課程教員	3	4				4		5		5	21
	前期課程教員		4				4				5	13
2	後期課程教員	3	4	4	4	4	4	4	5	4		32
	後期課程教員	3	4	4	4	4	4	4	5	4		36
	後期課程教員	3	4	4	4	4	4	4	5	4		32
3	種目協会役員・他校教員	3		4	4	4			1			16
	地域指導者	3	4	4	4	4	4	4	5	4		36
4	後期課程教員	6	4	4	4	4	4	4	5		4	39
	後期課程教員	3	4	4	4	4	4	4	6		4	37
5	部活動指導員	3	4		4		4	4	5		4	28
	前期課程教員	3	4	4	4	4	4	4	5		4	36
6	地域指導者	3	4		4	4	4	4	5		4	32
	後期課程教員	3			4	4	4			4	5	24
7	後期課程教員	3					4	4			5	13
	地域指導者		4	4		4	4			4	5	25
8	後期課程教員					4	4			4	5	17
	後期課程教員	3	4	4	4	4	4	4	4		5	32
9	バスケットボール部											
	後期課程教員			4			4					
10	地域指導者											
	地域指導者											
11	後期課程教員	3	4	4	4	4	4	4	4		5	36
	後期課程教員	3	4	4	4	4	4	4	4		5	32
12	SC2 I 指導者	3	4	4	4	4	4	4	4		5	21
	SC2 I 指導者	3	4	4	4	4	4	4	4		5	32
13	勤務時間数	51	64	48	60	60	76	52	69	28	75	583
	勤務者数	16	16	12	15	15	19	13	15	7	16	144

参加生徒

部活動名	8月28日	9月4日	9月20日	9月23日	11月23日	11月27日	12月11日	1月8日	1月10日	1月22日	合計
サッカー部	17	15	0	16	0	14	0	16	0	15	93
バドミントン部	18	18	16	17	17	14	19	18	18	0	155
陸上部	25	26	20	21	28	34	38	25	25	0	231
バスケットボール部	15	16	12	14	13	15	37	0	14	9	145
卓球部	6	8	9	9	8	8	0	8	0	9	65
合計	81	83	57	77	66	85	94	67	32	47	689

令和3年度運動部活動専門家会議構成員

座長	森田 啓之	兵庫教育大学 教授
副座長	吉矢 晋一	医療法人社団 西宮回生病院 整形外科 顧問
構成員	升川 清則	兵庫県高等学校体育連盟会長（県立兵庫高等学校長）
構成員	角南 寛	兵庫県中学校体育連盟会長（西宮市立浜甲子園中学校長）
構成員	寺岡 正人	(公財)兵庫県体育協会 事務局次長兼事業課長
構成員	谷 哲一	兵庫教育文化研究所
構成員	金地 民樹	西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校長
構成員	島田 宏	西宮市立総合教育センター附属西宮浜義務教育学校 主幹教諭
構成員	黒川 正博	西宮氏教育委員会 学校教育課 指導主事
構成員	竹安 雄一	阪神教育事務所 防災教育専門推進員
構成員	江草 誠	播磨町立播磨中学校長
構成員	濱本 宏	播磨町立播磨南中学校長
構成員	奥野耕太郎	NPO 法人スポーツクラブはりま 事業部長
構成員	近藤 良慈	NPO 法人スポーツクラブはりま 指導員
構成員	西野 直樹	播磨町教育委員会 学校教育グループ 統括
構成員	齋藤 宏紀	播磨東教育事務所 指導主事
構成員	金田 基裕	兵庫県教育委員会事務局 スポーツ振興課主幹
構成員	北中 睦雄	兵庫県教育委員会事務局 体育保健課長